

昭和62年10月31日

同 窓 会 会 報

第5号 (1)

同 窓 会 会 報

福岡大学医学部同窓会

第 5 号



同窓会活動の基盤整備を目的とした、 資金確保のための新たな活動計画

福岡大学医学部同窓会会长

山 崎 節（1回生）

今年の総会も無事に終わり、新たな活動方針のもと同窓会活動を行う事となりました。

ここ2～3年来の課題であります同窓会名簿の改訂の件ですが、今度こそ近々刊行出来そうな見通しです。今回総会担当の井上孝則君（7回生・精神科）たちが卒業生の全父兄を対象に、卒業生の現住所把握を試みてくれました。一方各医局に対しても医局員名簿の提出を依頼し、ほとんどの医局の協力を得る事が出来ました。加えて1回生や3回生では既に全員の住所把握は終了し、2回生もかなり進んでいるようです。これをまとめる作業も小金丸副会長や井上君らを中心に進んでいますので、もう少しお待ち下さい。

今年は総会費を若干値上げしましたので、総会費との混乱を避ける為に、今年度の年会費の徴収をまだ実施していません。年度半ばとなりましたので、今年度の年会費を集めさせて頂きます。医局在職者は各医局の委員に御協力願い、速やかにお支払い下さい。院外の会員の方は、福銀の同窓会の口座へ振り込んで頂くようお願い致します。

毎年の事ながら、会費の徴収が活動のネックとなっている面もあります。同窓会運営の資金のほとんど総てが会費収入によって賄われているのですが、実際会

員の会費納入率は新入会員を除くとせいぜい1～2割というところです。今回、在校生からは在学中に校納金の一部として終身会費を徴収する事が可能になり、早ければ来年の新入生から実施出来るようです。これによって、既卒の1,100名及び在学中の600名を対象にした終身会費の設定を早急に行いたいと思います。しかし、これとても支払い可能な金額でなければ意味がありませんし、尚且つ在校生の支払う終身会費との格差が余りあってもいけません。同窓会事務の簡素化のためにも終身会費設定の際には皆様の御協力をお願い致します。

以前から三井生命保険相互会社より保険代理店の業務委託を勧められていましたが、理事会および役員会で協議の結果、代理店契約を結ぶことになりました。これも活動資金確保を目的とするものです。内容はこちらから紹介する顧客と生命保険の契約が成立しますと、初年度保険金の1割が同窓会に支払われるというものです。主な対象は在校生（特に新入生）になると思いますが、卒業生や医学部職員でも、あるいは全くの他人でも同窓会を通して保険に加入していただければ同窓会の収入となります。既に関東や関西の私学では同社の代理店活動で運営資金を得ている同窓会や父兄会も多く、うま

く機能すれば同窓会活動のためにも有益と考えました。先にも述べましたように、当面勧誘交渉の対象は医学部学生の父兄となります。卒業生で興味のある方あるいは生命保険に入る意志のある方は私まで御一報下さい。

(山崎医院: ☎ 092-521-4089) 連絡を取ったうえ、

ったうえ、三井生命の担当者がお伺い致します。今後は従来、経済的に出来なかった色々な補助・助成のための資金にも活用してゆく計画です。

今後とも会員の皆様の御支援・御協力ををお願い致します。

医局紹介〈内科学第2〉

文責 木下昭生 (57年卒)

福岡大学医学部第2内科（主任：荒川規矩男教授）も今年（昭和62年度）で15年目をむかえ、当科在籍経験者も総計150名を越えるようになり、そのうち、福岡大学医学部卒業生が84名（56%）を占めます。小島直樹（54年卒）、古原雅樹（54年卒）、副島寛（54年卒）、池尻健太郎（54年卒）先生ら、すでに開業され地域医療の第一線として活躍されているドクターもふえ、現在の海外出張者を除く医局員総数は97名（福岡大学医学部出身者62名）で、助手以上28名（2名）医員15名）13名）、大学院生8名（8名）、学外出張者24名（17名）、筑紫病院8名（4名）、研究生10名（5名）、研修医15名（13名）という内訳です。助手以上の先生方が少ないのは残念ですが、まだ今年10回目の卒業生をだしたばかりの新しい息吹です。医局員に占める数からみても、本学出身者が今後の2内科の大きな柱となることが期待されます。

2内科は、現在、内科部門の5つの分野をうけもち診療・研究にあたっています。まず、最初に循環器グループです。広木助教授以下、2内科の半分以上のドクターが属する最も大きい2内科の中心ともいえるグループです。急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈内血栓溶解療法（PTCR）や狭心症、陳旧性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈拡張術（PTCA）をはじめとする心臓カテーテル検査、各種不整脈の診断・治療、心臓超音波検査、心筋シンチグラム検査等に多くの本学卒業生が携わっています。また、学外の出張先において、循環器部門のチーフとして多くの本学出身のドクターが活躍しています。腎臓グループは、内藤助教授を中心として構成され、急性・慢性腎疾患の血液透析を始め、日夜腎疾患の診療にあたっています。また同時に研究部門でもHLAと腎疾患の研究に関しては日本のトップレベルにあり、古原雅樹先生が、

慢性腎疾患とHLA・免疫複合体の関係についての研究で学位論文を授与されました。呼吸器グループは吉田助教授以下のメンバーからなり、慢性閉塞性肺疾患等多くの呼吸器疾患の診療・検査・研究にあたっていますが、最近、特に本学出身の若いドクターが本院内外での診療の中心としてがんばっています。感染症グループは、滝井助教授を中心として、各種感染症・膠原病の診療・研究を行なっています。重岡信秀先生(54年卒)が結核症の補助診断法に関する論文で学位を授与されました。最後に代謝グループですが、池田正春講師以下のメンバーからなり、高血圧・脂質代謝・副腎を中心とする内分泌疾患の診療・研究を行っています。清永明(53年卒)、浦田秀則(55年卒)、田辺庸一(55年卒)先生らは、高血圧の運動療法に関する研究で学位を授与されましたが、それぞれの研究は、日本内外から高い評価をうけています。

権藤公和先生(53年卒)は、アンジオテンシンⅡがレニンを介さないで産生されることを犬の心臓実験で明らかにし、脂質関係では、朔啓二郎先生(53年卒)が、HDLの代謝に関する研究で学位を授与されています。この他、宮瀬崇弘先生(54年卒)が生理学教室で、山本剛先生(54年卒)が微生物教室で、宮田純一先生(54年卒)、佐藤隆先生(56年卒)、楠本泰博先生(55年卒)が病理学教室で、松永彰先生(55年卒)が生化学教室で、熊谷雅之先生(56年卒)が薬理学教室でそれぞれ学位を授与されております。

また、すでに米国より帰国された朔啓二郎、仁位隆信(56年卒)両先生をはじめ、浦田秀則先生がクリーブランド大学へ、松永彰先生がテキサス大学へ、諸江一男先生(55年卒)がマイアミの心臓研究所へ留学中と本学出身の熱い情熱は、海外でも燃えたぎっています。

第6回総会始末記

第6回総会監事

井上政則(7回生)

昭和62年7月4日(土曜日)午後5時より、天神国際ホールにて、第6回福岡大学医学部同窓会総会および壇親会が開かれた。現在同窓会会員総数1,089名に対し、当日の出席者65名(内、教授・助教授4名)、委任状提出者400名という結果であった。まさに大きな会場にまばら

な人数での貧会の印象はまぬがれないものであった。

総会に先立ち、故吉浦先生の黙とうを行いその後、開会の辞(高良先生)、会長あいさつ(山崎先生)、事業報告(吉田先生)、会計報告(小金丸先生)、会計監査(田口先生)、閉会の辞(高良先生)と各先

生方からの報告が行われた。引き続き塾親会となり、朝長教授坂本教授、重松教授、百枝助教授を交えて2～3のアトラクションを行い、最後は、1回生の外薗先生の万才三唱で幕を閉じた。

今回の総会を担当するに当たり、3月より考案を練り、4月より準備にはいり、例年の反省をもとに、今年こそは盛会にと意気込んでみたが、残念な結果であった。総会終了後の担当者による反省会では、場所、日時、会費、宣伝、連絡等の様々な反省点を議論したが、結局は会員個人個人の同窓会に対する参加ないし所属意識の薄さが最大の課題であろうと想像された。実際に同窓会の目的や活動内容について何も知らない会員あるいは無関心なままでいる会員が多い事におどろかされる。それは、今までの同窓会の活動等の宣伝が行き届いていない事から、そういう現状になっているのだろうという背景も考えられたが、これまでに**4回**の会報発行や毎年の総会や会費集めなどの宣伝の機会が続けられているにも関わらず、また評議委員会でも、毎回のように議論されているにも関わらず、現状を打破できないままである。

来年はいよいよ福大医学部の**15周年**を迎える。今後も、20年、30年と歴史を刻んでゆく中で同窓会も変わってゆくだろうが、会員個人個人の意識の変化は、容易な事では動かないだろうと思われる。しかし遠い将来に、いつか福大卒の教授が生まれる時、あるいは目前の医師過剰時代に適応してゆく時にこの同窓会のき

ずなが有難い連がりであっても、迷惑であることは少ないであろうということは認識しておくべきである。今は偶然、同じ学び舎で学んだだけにすぎない者の関係が、真に実りのあるものと感じられるのは、先々の事かもしれないが、その事を少しでも信じられる方々は、今の同窓会の現状や問題に关心を向けていただきたいと思う。

未だにわが福大同窓会は夜明け前の勢いという印象が強いが、これが日の出の勢いの前身であることを信じて来年、来々年の総会の成功をいのりたい。

第81回 医師国家試験合格者

昭和62年4月4日、5日に行なわれた第81回医師国家試験に本学から159名が受験し、123名合格した。合格率は77.4%であった。

合格者の研修先は（福大病院研修生は科名のみ）次のとおり。

青木 茂	(浜松医大産婦人科)	首藤 浩一郎	(大分医大外科一)
赤井 譲	(香川医大外科一)	新関 久仁子	(広大内科一)
秋満 俊介	(内科二)	鈴木 智美	(精神科)
浅野 史也	(眼科)	関 興二	(精神科)
市来 秀一	(鹿大内科二)	武末 淳	(耳鼻咽喉科)
糸井 仁	(健康管理科)	田里 寛	(京大小兒科)
伊藤 正訓	(精神科)	田中 敬一	(長大皮膚科)
伊藤 裕	(山大整形外科)	田端 雅彦	(群大小兒科)
井上 隆	(九大外科二)	仲田 広敬	(熊大小兒科内科一)
井上 俊孝	(外科一)	中村 淳	(福岡徳州会)
上野 裕史	(福岡徳州会)	中村 信之	(沖縄中部病院)
江島 正顕	(東京国立第二)	中村 正直	(内科二)
岡野 里香	(広大小兒科)	永田 治	(九大産婦人科)
緒方 宏之	(熊大内科二)	長田 邦彦	(鹿大眼科)
金武 康文	(健康管理科)	永光 春美	(放射線科)
金田 規嗣	(大分医大耳鼻咽喉科)	西岡 義幸	(健康管理科)
衣笠 哲史	(外科二)	野村 智二郎	(九大脳神経外科)
木村 隆行	(内科一)	橋口 純一郎	(長大内科二)
木村 泰司	(熊大内科二)	鳩野 長房	(内科一)
楠原 浩之	(内科一)	菱山 博樹	(九大心療内科)
合志 光史	(小兒科)	深川 康裕	(福岡徳州会)
坂田 俊文	(耳鼻咽喉科)	藤岡 嗣朗	(京都府立外科一)
佐々木 康人	(熊大内科一)	藤原 孝恵	(九大産婦人科)
志賀宗祐	(眼科)	北条 香織	(阪大内科三)
重村 剛	(外科一)	本庄 考	(産婦人科)
志々目 光宏	(九大放射線科)	松原 好宏	(九大整形外科)
四宮 幸子	(九大内科三)	松前 知治	(内科二)
渋江 有恒	(内科一)	松本 一郎	(小兒科)

三原圭司	(長大整形外科)	郭明烈	(小兒科)
三原千拠	(麻酔科)	五島優子	(九大眼科)
見山文明	(福岡德州会)	柴田憲助	(外科二)
持田和幸	(外科二)	立川隆義	(長崎中央病院)
森寿治	(外科一)	田中誠司	(佐医大産婦人科)
師井位栄	(熊本日赤)	二宮正幸	(久大小兒科)
矢野文良	(九大放射線科)	藤田節也	(皮膚科)
山上伸一郎	(順大内科)	本庄正澄	(眼科)
山崎宏	(九大内科三)	三原宏之	(内科二)
吉武研三	(整形外科)	宮城司道	(耳鼻咽喉科)
吉武慎一郎	(九大麻酔科)	米田敏	(外科二)
吉武裕明	(外科二)	池永健	(長崎中央病院)
岩崎一平	(精神科)	久原克彦	(内科一)
小貫圭介	(愛媛大内科二)	詫摩和彦	(長大内科二)
香月まこと	(久大内科一)	赤司和彦	(麻酔科)
清沢敦子	(眼科)	岩永宏樹	(久大外科一)
宿里芳孝	(健康管理科)	岩村司郎	(産婦人科)
島田清	(熊大産婦人科)	松村洋	(健康管理科)
田原敬士	(整形外科)	小山祐之介	(産婦人科)
仲淳一郎	(鹿大内科一)	手山知行	(山大産婦人科)
中島浩昭	(内科一)	長浜俊一	(佐医大内科)
内川徹也	(長大外科一)	和田郁子	(鹿大外科一)
富田明彦	(宮医大内科一)	伊井千景	(熊大麻酔科)
水間陽一	(放射線科)	江口武夫	(徳大耳鼻咽喉科)
興田欣生	(内科二)	永山一成	(宮医大内科二)
大隈健司	(内科一)	平野哲也	(熊大整形外科)
小柳邦夫	(精神科)	米田利弘	(久大麻酔科)
徳留雄二	(鹿大内科二)	柳瀬圭史	(九大内科)
前田俊一	(鹿大整形外科)	伊藤裕子	(健康管理科)
有馬博隆	(鹿大整形外科)	福崎誠	(鹿大)
池田宏	(整形外科)	山口卓朗	(長大眼科)
犬束浩二	(外科二)	杉紀賢	(眼科)
上野毅一郎	(九大外科二)	富田寿三	(長大産婦人科)
王谷英仁	(鹿大産婦人科)		

昭和61年度福岡大学医学部同窓会会計報告

収入の内訳

○昭和61年度新卒業生入会会費

(15,000 X 91, 20,000 X 4) 1,445,000円

○昭和61年度同窓会費並びに総会費

(8,000 X 206, 5,000 X 78, 3,000 X 42) ... 2,164,000円

○銀行利息..... 9,885円

収入合計 3,618,885円

支出の内訳

○昭和61年度同窓会総会 507,230円

宴会費	286,000円
景品代	145,760円
アルバイト代	15,000円
通信費	35,000円
その他消耗費	25,470円

○同窓会用コンピューター購入費..... 591,600円

○役員会会議費（3回分）..... 232,140円

○雑費..... 23,015円

支出合計 1,353,985円

昭和61年度決算（収入一支出）..... 2,264,900円

昨年度繰越総額..... 3,533,195円

昭和62年度への繰越総額..... 5,798,095円

会計担当 田代研児 ㊞

監事 田口純一 ㊞

【お知らせ】

＜第7回同窓会総会＞

昭和63年7月2日(土)の予定です。

＜会費納入のお願い＞

昭和62年度 会費5,000円を未納の会員の方は、早急に下記の口座にお振込下さい。

福岡銀行 福岡大学病院出張所

普通預金口座 No. 18937

福岡大学医学部同窓会

山崎 節

転勤、留学、結婚等で住所、氏名や勤務先を変更される会員の方が多いと思います。ぜひ、同窓会にてご一報下さい。会員への通知、名簿作成などに際し消息を追うことは極めて困難なのです。なお、通知用のハガキを綴込んでいます。ご利用下さい。

＜名簿作成のおしらせ＞

新規名簿を作成中で。綴込のハガキにて御通知下さい。

＜編集後記＞

現在、同窓会名簿を作成中です。同窓会に対して無関心な先生も多く、3回の問い合わせの手紙を出しても返事のない方が多く、全く情けなく思います。少なくとも、福大病院、福大筑紫病院、関連病院勤務の先生方は、なおいっそう団結して、同窓会の認識をもって下さい。そうする事が、福岡大学の発展の一助となり、将来が開けるのでは……。

会報もやっと5号です。各地での支部会がありましたら、どうぞ会報へ投稿下さい。

投稿先 〒814-01 福岡市城南区七隈7丁目45番1号

福岡大学医学部同窓会

第3回卒 小金丸 史 隆 (放射線科)